

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	特発性側弯症における治療成績の検討 B19-321
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部整形外科学 講師 宮城正行
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	特発性側弯症は側弯症の中でも最も多く約90%を占めています。進行すると容姿の問題だけではなく、疼痛、呼吸障害、循環障害につながる可能性があります。2006年以降当院では側弯症に対する保存療法・手術療法を行ってきており、現在は日本で最も側弯症治療を行っている施設の一つです。特発性側弯症の自然経過や保存療法・手術治療成績の報告はいまだに少ないのが現状です。本研究により、側弯進行のリスク因子や、保存療法および手術療法の効果と今後の課題を明らかにすることが可能になると考えております。特発性側弯症の患者さんにおける治療の発展に役立て、今後治療を必要とする患者さんに必要な情報を提供することが目的です。
調査データ 該当期間	2006年1月1日から2024年12月31日の間
対象となる患者さん	北里大学病院で特発性側弯症に対し保存加療もしくは手術加療を施行し、医療情報が当院で保管されている患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	2006年1月1日から2024年12月31日までの患者さんの基本情報(年齢、性別、診断、既往歴など)の他、レントゲン、CT、MRI、手術関連情報、生理機能検査、血液検査データ、骨密度、体組成、アンケートを利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、整形外科学医局研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、2030年2月7日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属・職位：整形外科学 講師

担当者：宮城 正行（ミヤギ マサユキ）

電話：042-778-8707

備考